



新たな歴史を市民の皆様とともに

富士見市長 星野 信吾

新年おめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は富士見市政に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、本市の人口もおよそ11万人となりました。昭和31年の3村（鶴瀬村、南畑村、水谷村）合併により、人口1万1千人ほどの富士見村が誕生して以来、町から市へ変遷を遂げる中、大型団地の建設や積極的なまちづくりを推進してきた結果、年々人口が増加し、現在に至っております。

都道府県人口の第5位に位置する埼玉県において、本市は県内63自治体中21番目の人口（平成27年1月1日現在）です。

これらのことからわかるように、本市は、少子高齢化の中、順調に人口が推移し、ららぽーと富士見の開業や、都市基盤の整備などにより、今後もますます発展が見込まれます。このことは、市民の皆様のご協力と先人の方の努力により、成り立っているものであり、ここに改めて感謝を申し上げます。

私もこの7年半の間に、さまざまな施策を行ってまいりました。市長就任当時から掲げている「子どもにツケをまわさない」をスローガンに、徹底的な行財政改革を行い、人件費の削減や経費の節減を強力に押し進めてまいりました。また、「子育てするなら富士見市で」の理念のもとに、子ども医療費の無料化、保育所や放課後児童クラブの増設、小中学校の全教室にエアコンの設置など、子育て環境の充実に努めてまいりました。

これらが、微力ではございますが、人口増加の一因となっております。私の2期目の任期は今年満了日を迎えますが、残された期間も市政発展のため全力で取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

そして、これからも私たちのまち「富士見市」に誇りと愛着をもち、新たな歴史を市民の皆様と行政が協力してつくり上げていきたいと思います。

平成28年が市民の皆様にとりまして輝かしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成27年を振り返って

- 1月 成人式
- 新春縄文マラソン大会
- 新春太鼓まつり
- 市民総合体育館暫定再開

- 2月 入間東部地区駅伝競走大会

- 3月 富士見市みんなで取り組む食育推進条例を制定
- 菜の花まつり

- 4月 ミニ鉄道運転会開始
- ららぽーと富士見オープン
- 菜の花フェスタ
- 熟年バンドライブ
- 富士見市いじめ防止条例を制定

- 5月 ピアザ☆ふじみ開館
- タウンミーティングを開催
- ふじみヘルシーウォーク大会
- 歯と口の健康フェア

- 6月 難波田城公園まつり
- 子ども大学・子どもスポーツ大学☆ふじみ開校

- 7月 やなせ川いかだラリー
- ピースフェスティバル2015
- 富士見市内共通商品券販売

- 8月 東みずほ台まつり
- みずほ台まつり
- いじめ防止サポーター認定式

- 9月 子ども文化芸術大学☆ふじみ開校
- 勝瀬de縁日
- 水子貝塚星空シアター
- 国際交流フォーラム

- 10月 富士見ふるさと祭り
- 富士見市総合防災訓練
- つるせよこい祭り
- 地元食材de簡単レシピコンテスト
- 健康まつり

- 11月 いじめのない学校づくり子ども会議
- マイナンバー通知カードの配布開始
- 夢灯り大市
- 富士見市民文化祭
- なんばた青空市場
- 富士見市スポーツフェスティバル
- ハイブリッド和菓子誕生



人とまちがますます元気な富士見

～平成27年を振り返って～

